

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 項目別評価 I 業務運営・財務内容等の状況 (2) 財務内容の改善</p> <p>【原文】 「②学内シーズの発掘、企業ニーズとのマッチング等を推進し、共同研究及び受託研究の件数の増加を図る」（実績報告書38頁・年度計画【292】）について、産学連携体制の強化等に取り組んでいるものの、平成19年度から平成20年度にかけて、共同研究の件数が減少していることから、年度計画を十分には実施していないものと認められる。</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 当該年度計画は、中期計画【292】「学内シーズの発掘、データベースの構築、企業ニーズとのマッチング等を推進する支援体制を確立。」に基づき、学内の産学連携の機能を最大限活用し、学内シーズの発掘、企業ニーズとのマッチング等の取り組みを一層強化することが目標であり、それらの取り組みを通じて共同研究・受託研究の増加が図られるという趣旨である。 この年度計画に沿って、20年度は、ビジネス・インキュベーション・マネージャーやアシスタント・コーディネーターの増員等産学連携業務に関する体制を強化するとともに、産学連携交流会・展示会への参加を増加させるなど、獲得に向けた取り組みを着実に実施した。</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 年度計画【292】については、その達成に向け取り組まれていることは理解するが、前年度と比べ共同研究の件数が減少しているほか、受入額も減少していることから、当該年度計画を十分には実施していないものと認められるため。</p>

以上のことから、年度計画を十分実施していると判断した。

なお、共同研究件数は前年度に比べ減少しているものの、16年度から20年度までの累計件数は、中期目標期間の目標（中期計画【114】共同研究累計450件、受託研究累計900件）を既に達成しており、中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいると判断できる。